

まちづくり人財塾 第1回講座 開催のご報告

テーマ「地域での話し合いの手法を学ぼう① ～ワールドカフェを体験しよう～」

第1回講座では、青森大学社会学部教授で早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員である佐藤淳氏を講師にお招きし、話し合いの手法を学び、実際に話し合いの手法であるワールドカフェを体験してみました。

当日は、町内会、商工会青年部、高校生、大学生、役場職員など多様な立場の方21名にご参加いただきました。

●会議に入る前に「チェックイン」

お互いの関係性を高め、その後のスムーズな話し合いを促すために行うのが「チェックイン」です。

お互いを知ってもらうことで自分から話しやすくなり、気持ちを知ることで相手を気遣って話を聞くことができるなどの効果があります。

今回は、参加者同士で、今の正直な気持ちや気になっていることを共有しあう時間を取りました。



●会議のいろは

- ・会議内でいきなり「ご意見お願いします」と言われても誰も何も発言しないことが多いので、「思ったことを紙に書いてみてください」とワンクッション置くだけで、スムーズに意見が共有出来る。
- ・会議とは、意見を「言い合う」場ではなく、「聴き合う」場である。
- ・会議とは、「結論を決める」場ではなく、「次の行動を促す」場である。
- ・話し合いの流れは、発散(意見を沢山出すこと)→収束(意見をまとめること)→決定(最終的に決めること)。

これを踏まえて、今まで経験した「良かった会議」「つまらなかった会議」を紙に書き出しグループで共有しました。

●話し合いを促進するための「ファシリテーション」

身近な会議や集会の場をもっと楽しく有意義にするための話し合いの手法をファシリテーションと言います。参加者の発言を促し、様々な意見をまとめ、スムーズに場を進行することで話し合いが変わり、住民の意識が変わり、住民の行動が変わり、地域が元気になります。

●話し合いの手法の一つ「ワールドカフェ」

席替えをする井戸端会議であり、カフェのようなりラックスした雰囲気の中で、「問い」に集中した会話を行うものです。

4～5人単位のグループで行い、メンバーの組み合わせを変えていくことで参加者全員で話し合っているような効果があります。

参加者のアイデアがつながりあって、新しいアイデアや気づきが生まれます。



【カフェチケット(お作法)】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 自分ばかり話さない | 4 模造紙に書き出す |
| 2 思ったことは口に出す | 5 話を重ねて |
| 3 頭から否定しない | 6 楽しい雰囲気を大切に |

今回は、ワールドカフェを体験するために、次の3つのテーマを用いて話し合いをしてみました。

【ワールドカフェの流れ】

1. テーブルごとの話し合い①

<テーマ>

三戸町の誇りに思うこと、
残念に思うことは？



席替え

2. テーブルごとの話し合い②

<テーマ>

20年後、理想が100%実現するなら
どんな三戸町でありたいか？



席替え

3. テーブルごとの話し合い③

<テーマ>

20年後のありたい未来を実現する
ため皆で一緒にやりたいことは？

4. 個人での振り返り

5. 全員での振り返り

誇り：11 ぴきのねこのまち、三戸城跡、
祭り、りんご、自然・緑が多い
残念：人口減少、少子化、空き家増加、
シャッター街、仕事が無い

災害に強い町、エネルギーの自給自足、
コンパクトシティ化、小学校を増やす、
テーマパーク、宿泊施設オープン、人口
2～3万人、医療の充実、仕事がある、
年間100万人の観光客

農業の法人化、イベントの実行委員会、
町のPR動画(短め)作成、町の魅力を
SNS発信、地域内での意思疎通

参加者の感想

- ・最初は難しいことをやると思っていたけど、実際に講座を終えて、そこまで難しく考えなくても大丈夫だと感じた。
- ・自分の町内会や職場でもこの話し合いの手法を使ってみたい。
- ・主体的にまちづくりに関わっていききたい。
- ・高校生や大人など普段接することの少ない人と対話出来る機会だったので参加して良かった。

